

【こぎん刺しの工程】1.織る→2.図案→3.糸選び→4.裁断→5.刺し→6.フイロペ→7.加工→8.仕上げ



かつては、自生する麻や苧麻(からむし)から糸を作り、布を織り、胸と背にこぎん刺しを刺すという流れでこぎん刺しの仕事は作られていました。弘前こぎん研究所(昭和37年設立)では、麻布の織から裁断、刺し、仕上げまで見学することができ、さまざまなオーダーメイドもできます。

## 「津軽こぎん刺し」ができるまで

岩木川の下流にあたる旧金木町(現五所川原市)を中心に旧車力村・木造町(ともに現つがる市)で作られました。肩から背にかけて刺された太い三段の縞模様が特徴。冷害や凶作の多い地方だったため刺し手が少なくなかったか、現存するものは非常に少ないです。

### 三段こぎん



写真提供：弘前こぎん研究所

弘前市の東側にある黒石市、平川市、弘前市石川地区などで作られ、太めの粗い麻糸で織った布に刺したものが多い。前身頃から後ろ身頃にかけて大胆で大柄な同じ模様が施されています。

### 東こぎん



弘前市の西側にある西目屋村、弘前市の岩木地区、相馬地区などで作られました。苧麻(からむし)の細い糸で織った布に刺されたため、模様が緻密。山から炭スコ(炭を入れる甕の殻)などの重い荷物を担ぎ出すため、肩を紐糸と白糸の縞で補強しているのが特徴です。

### 西こぎん



## 3種類のこぎん刺し

### ◆ 掲載店舗情報

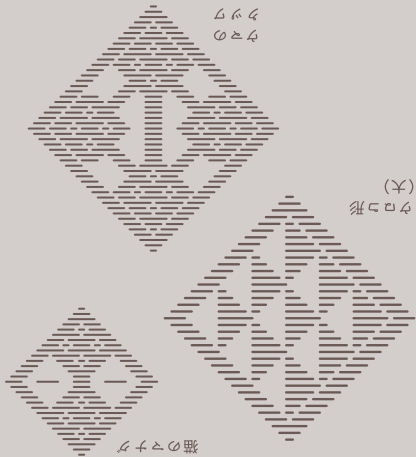
- green 伝統模様を活かした、現代の暮らしに合うこぎん刺し雑貨が並んでいます。  
【休】祝祭日を除く水曜日／☎0172-32-8199／弘前市代官町22
- 佐藤陽子こぎん展示館 明治時代のこぎん刺しの着物から、新作・創作こぎんまで展示しています。  
見学・体験は要予約／☎0172-82-3367／弘前市真土字東川199-1
- スターバックスコーヒー弘前公園前店 登録有形文化財の店舗で、店内の調度でこぎん刺しが用いられています。  
【休】不定休／☎0172-39-4051／弘前市上白銀町1-1
- 大正浪漫喫茶室 モダンな洋館のサンルームで食べる“りんごの街”のアップルパイは格別です。  
☎0172-37-5690／弘前市上白銀町8-1 藤田記念庭園洋館内
- 津軽工房社 草木染めのこぎん糸、全国各地のこぎん作家の作品などが購入できます。  
【休】不定休／☎080-1675-3753／弘前市元寺町52
- (有)弘前こぎん研究所 こぎん刺し作りの作業工程の見学、製作体験(要予約)もできます。  
【休】土・日・祝、夏季・年末年始／☎0172-32-0595／弘前市在府町61
- ホビーショップ つぎや こぎん刺し専用の麻布・綿糸・針・糸などの材料、本や図案も購入できます。  
【休】木曜／☎0172-32-2727／弘前市土手町122-8



発行：弘前市商工部産業育成課(☎0172-32-8106)  
【デザイン】09works 和久尚史 【イラスト】柿崎こうご 【写真】antenna 須川健太郎 【文】小畑智恵  
【発行】2025年4月 ※情報は発行時の内容です。その後の変更や改訂の可能性があるので、ご了承ください。

津軽こぎん刺しは「刺し子」の一種で、布の縦の織り目に対して一・三・五・七と奇数の目を数えて刺します。  
基礎模様を「モドコ」と呼び、「ラコナ」(ちようちよ)、「アメコ」(豆こ)、「フジベ」(ひょうたん)など津軽弁の名前が付いており、現在40種類ほどが存在します。  
組み合わせによって、大きく美しい幾何学模様が生まれます。

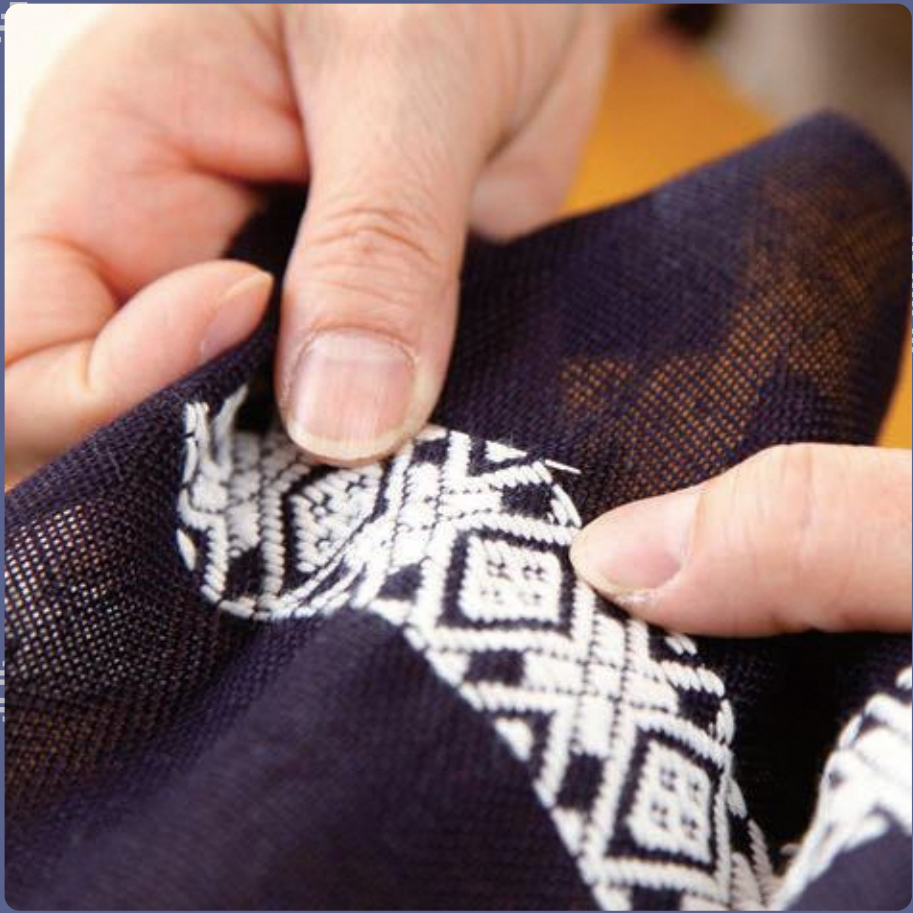
### モドコ



江戸時代、麻の着物しか着ることが許されなかった津軽の農民たちは、保温・補強のため麻布に木綿の糸で刺し子を施しました。衣服の禁令が解かれた江戸時代後期から明治初期、暮らした農村の女性たちが競って美しい模様を刺すようになりました。流通が盛んになり安い綿布の広がりとともに廃れましたが、昭和初期に民藝運動を起こした柳宗悦が著書「工芸」14号で「名も無い津軽の女達よ、よく是程のものを遺してくれた。」と、その美しさを高く評価したことをきっかけに、広く知られるようになりました。

## 麻布を木綿の糸で保温、補強 わたちの手から美しい模様が生まれた





# 家族を思う 女たちの針仕事

風雪吹き荒れる冬の津軽で、少しでも暖かく過ごせるように。江戸の頃から津軽の女たちは家族のため一心に、藍色の麻布に白い木綿糸を刺し続けました。横一線だった針の目はやがて、凛とした美しさを備える菱形模様となり、「こぎん刺し」と呼ばれるようになりました。

仕事着を保温、補強し、飾った頃から綿々とながれた針の軌跡は、「制約の中で生まれた慎ましい美」として、今も津軽の暮らしのそこそこに点在しています。

## 津軽こぎん刺し 街あるきマップ

見て 触れて 刺してみて

こぎん刺しの歴史に触れたい方には、明治期の「古作」に触れて、こぎん刺しキットも購入できる佐藤陽子こぎん展示館がオススメ。あちこちのショップには、モダンな色糸、布でアレンジされた名刺入れやポーチなどの小物があり、目移りするはず。街歩きに疲れたら、藤田記念庭園内にある「大正浪漫喫茶室」へどうぞ。アップルパイを食べ比べながら、「りんごの街 弘前」も堪能してください。



モダンでキュートなこぎん刺し  
[green]



古作を着用できます  
[佐藤陽子こぎん展示館]



アップルパイが美味しい  
[大正浪漫喫茶室]



洋館に映えるこぎん刺し  
[スターバックスコーヒー弘前公園前店]



オリジナルの布、針、糸が豊富  
[ホビESHOP つきや]



県内外の作家の作品に会える  
[津軽工房社]